

備前市事務事業評価表

事務事業名	観光施設整備事業（吉永）		コード	04-03-01-11
			担当課・係	吉永総合支所産業建設課管理係
			担当者	吉田正人
			電話	84-2513
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
	中項目(基本施策)	個性あふれる観光のまちづくり		
	小項目(施策)	観光（観光地の整備）		

事業について	
目的 (何のために)	老朽した施設の改修、改良を行うことにより、観光客の利便性の向上と、重要な観光資源の保存を図る。
対象 (誰・何を対象に)	観光客
内容	老朽した八塔寺民俗資料館の母屋の建具等の木工及び納屋の茅葺屋根葺き替え。（前年度からの繰越）H18現年分は倉の屋根の葺き替えと納屋の内部の改修をおこなった。

事業の結果								
実施項目	17年度		18年度					
	回数など (単位)		回数など (単位)					
施設改修工事	1 件		2 (内1件は前年度繰越) 件					
事業費 (単位：千円)	事業費		事業費		事業費		事業費	
	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等
	人件費	1,695	委託費負担		人件費	1,856	委託費負担	
	合計	1,695	一般財源等	1,695	合計	9,877	一般財源等	9,877

必要人員	0.20 人		0.20 人	
結果指標名	施設改修工事発注		施設改修工事実施	
結果指標量	1		2	
単位	件		件	
対前年比	200.00%		0.00%	
活動にかかるコスト	1,695,000 円		9,878,000 円	
単位当たりコスト	1,695,000 円		4,939,000 円	
結果指標名				
結果指標量				
単位				
対前年比	-			
活動にかかるコスト	円		円	
単位当たりコスト	円		円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	全国的にも貴重な八塔寺ふるさと村の茅葺集落を、適切に保存していくことにより市のイメージアップとともに観光客の増大を期待したい。		
成果指標名	改修改良率	式又は説明	改修改良件数(2)/改修改良必要件数(5)
	17年度	18年度	
成果指標量	20	40	
対前年比	-	200.00%	0.00%
到達目標値	100	到達目標年度	H22

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等：)	妥当性評価<A~E> B
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	吉永地域内の観光施設の中でも八塔寺ふるさと村の茅葺民家の集落は全国的にも貴重な観光資源であり、適切に保存していく必要がある。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	茅葺の葺き替えについては、材料の調達、職人の確保が難しく、定期的に安定した工事発注によりコストダウンの可能性はある。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	課題認識
	市民参画度		施設によっては建設当時の設備が最近の観光客のニーズに合わないものも少なくなく適宜改修、改善の必要がある。

平成19年度の状況		説明 民俗資料館はH18でほぼ改修できたが、隣接する茶屋の屋根の老朽が著しいため引き続き事業を実施する予定である。本年度については県の補助が期待できる。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 1	結果指標量 60

総合評価	観光客のニーズは時代と共に変化しており、それに対応することにより集客の増加が期待できる。また、貴重な観光資源を適切に保存することにより、市のイメージアップが図れる。	評価区分<A~E> C
------	--	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する <input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果